

農林水産省登録第16471号



# カニキリホイホイ



## アース製薬株式会社

# カミキリホイホイの特長

## ① スギカミキリの習性を利用しています。

スギカミキリの成虫は樹皮の割れ目等に潜む習性を持っています。『カミキリホイホイ』は樹幹に1ヵ所巻き付けておくだけでスギカミキリの成虫を捕殺することができます。

## ② 殺虫成分を使っていないため安全性が高く安心して使用できます。

特殊粘着剤の強力な接着力によりスギカミキリの成虫を捕殺します。殺虫成分は配合されていないので人畜に及ぼす影響や環境汚染の心配はありません。

## ③ 簡単に取り付けられ、一度の設置で発生期間中捕殺し続けます。

一度巻き付ければ捕殺力は半年以上持続します。そのシーズンのスギカミキリ成虫の発生期間中連続して捕殺するのでシーズン中に交換や追加の必要はありません。

## ④ スギカミキリの防除はもとより移動や侵入の防止及び発生予察にも利用できます。

被害樹からの移動や被害のない林分への侵入防止など予防的な手段として利用できます。

## スギカミキリの被害の見分け方

### 被害発見のポイント



#### ヤニに注意

5～6月にキズや虫糞もなくヤニがでていたら、スギカミキリを疑う。



#### 脱出孔に注意

幹に横長の6%以上の孔があいていたら、スギカミキリの被害。



#### ヨコスジに注意

幹にヨコスジがあればスギカミキリがいることを疑う。

### スギカミキリの加害のようす



樹皮下の虫くい状況



#### ハチカミに注意

樹皮にひび割れ（ハチカミ）があれば、スギカミキリの可能性あり。



伐採したときの木口などに孔・シミ・変色や腐朽などがみられる。



#### 枯死木

（スギカミキリのはげしい加害を受けた場合の被害）

#### 枝折れ

## スギカミキリの習性

スギカミキリの成虫は蛹室から脱出後しばらくの間樹幹を上下に這まわったり、樹皮の割れ目や物陰に潜む習性を持っています。

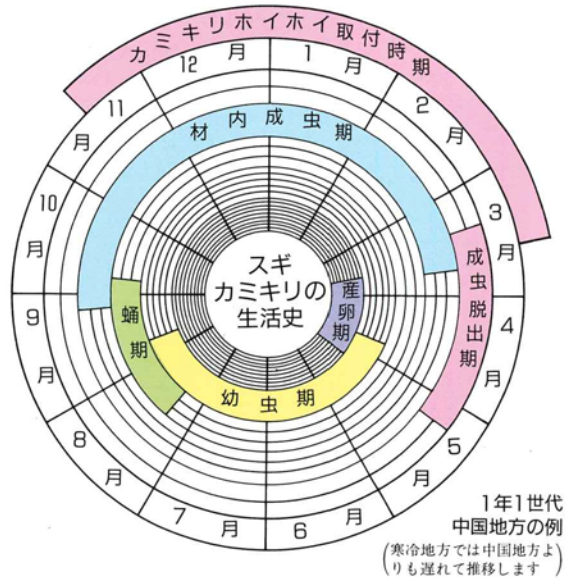


### (防除と予防のポイント)

カミキリホイホイを巻きつけるとスギカミキリが入り込み捕殺され防除や予防につながります。

## カミキリホイホイの取付時期

スギカミキリの成虫は冬の間樹の中にいて桜(ソメイヨシノ)の開花時期とほぼ同時期に樹から出現しますのでそれ以前に取付けてください。

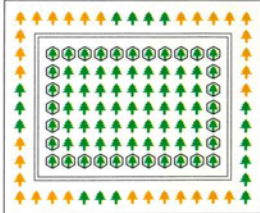


## カミキリホイホイの上手な使い方

### 予防目的

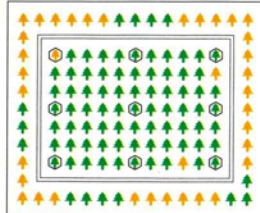
#### (侵入防止)

林分の周りの樹木に設置する。



#### (発生予察)

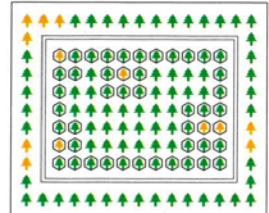
調査林分内に均等に配置する。



### 防除目的

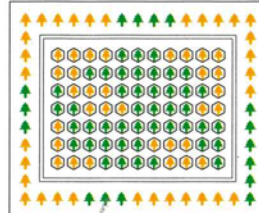
#### (被害が少ないとき)

被害樹及び被害樹を囲む健全樹、林分の周囲の樹木に設置する。



#### (被害が多いとき)

全ての樹木に設置する。



未処理樹: ▲健全樹 ▲被害樹

処理樹: ●健全樹 ●被害樹

## カミキリホイホイの効果

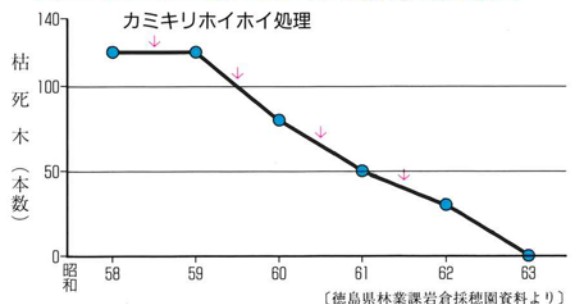
### スギカミキリ被害林の粘着バンドによる 連年スギカミキリ捕獲調査

調査地 No.	調査本数	昭和61年		昭和62年		昭和63年		平成元年	
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂
1	50	11	6 (17)	3	5 (8)	3	1 (4)	2	1 (3)

(徳島県林業総合技術センター資料より)

3700本のスギ林分にカミキリホイホイを50本連年ランダム処理した場合の、スギカミキリ捕殺個体数

### カミキリホイホイ連年処理による枯死木被害の減少

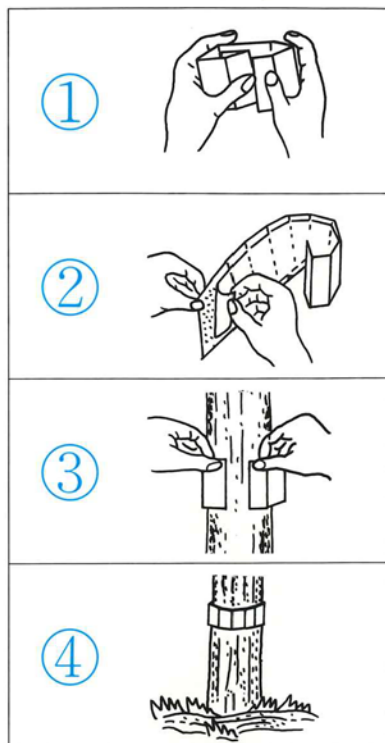


(徳島県林業課岩倉採種園資料より)

# カミキリホイホイの適用害虫及び使用方法

適用作物名	適用病害虫名	使用時期	使用量	使用方法
すぎ ひのき	スギカミキリ	成虫発生前か ら発生期間中	1樹あたり 1枚	樹幹に巻き付け、粘着面で 重ね合わせて固定する。

## カミキリホイホイの使い方



① 軽く折り目をつける。

② 剥離紙をはがす。

③ 粘着面を内側にして樹幹に巻き付ける。

④ 粘着面で重ね合わせて固定する。



カミキリホイホイ処理状況  
(植林地)

(ゴルフ場)



捕殺されたスギカミキリ

### ● 使用上の注意事項

- ① 本剤は、スギカミキリ成虫を粘着捕獲することを目的とし、スギカミキリの発生期間中（2月中旬から5月上旬）連続して使用する。
- ② 軽く折り目をつけてから剥離紙をはがし、粘着面を内側にして、折り目部分で樹皮との間に適度な隙間ができるように樹幹に巻き付ける。
- ③ 本剤を巻き付ける樹幹の高さは、地上0.5～2mを目安とする。
- ④ 本剤の使用にあたっては使用時期、使用方法等を誤らないようにし、特に初めて使用する場合には、林業技術者の指導を受けることが望ましい。
- ⑤ 万一粘着剤が皮膚についた場合は、食用油等で取り除いた後、石鹸でよく洗うこと。

### ● 包装：200枚入り(段ボール詰)

**アース製薬株式会社** ARR

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-12-1

**お客様窓口 0120-81-6456**

受付時間9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

<https://www.earth.jp/>